



社会福祉法人日本心身障害児協会

島田療育センター



利用者のニーズに応え  
質の高い療育をめざす

〒206-0036 東京都多摩市中沢1-31-1

電話 042-374-2071 (代表) / FAX 042-372-9363 (代表)

HP <https://www.shimada-ryoiku.or.jp/tama/>

島田療育センター

検索



スマートフォンの方は  
こちらから





## 療育の指針

- 1 個性を尊重し、充実した生活を送ることができるように努めます。
- 2 人間としての尊厳を重視した質の高い医療、看護、生活支援を行います。
- 3 年齢や個々のニーズに応じたサービスを通して、生活の質の向上に努めます。
- 4 家族・保護者のかたがたとよく話し合って、相互理解に基づいたサービスを提供します。
- 5 地域社会に開かれたセンターをめざします。



## 施設概要

開設年月日 昭和 36 (1961) 年 5 月 1 日

診療科 小児科 / 内科 / 精神科 / 児童精神科 / 耳鼻咽喉科 / 歯科 / 神経小児科 / 整形外科 / リハビリテーション科

事業等 医療型障害児入所施設 / 療養介護 / 短期入所 / 外来診療 / 生活介護 / 児童発達支援 / 放課後等デイサービス / 保育所等訪問支援 / 居宅訪問型児童発達支援 / 計画相談支援 / 障害児相談支援 / 訪問診療・訪問看護・訪問リハビリテーション / 地域療育等支援事業 / 発達支援センターセブクローバー

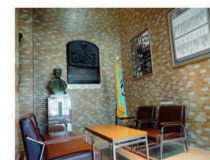
同法人運営施設 島田療育センターはちおうじ



## 施設全体配置



中央玄関



中央玄関ロビー



外来



理学療法室



居住スペース



短期入所の居室



ほっとステーション A 室



ほっとステーション B 室



デイケアセンター



東京都立多摩桜の丘学園  
島田分教室



栄養科厨房



グラウンド



# その人らしく豊かな日々を過ごせるように

## 入所 (233床)

入所利用者様は、大きく6つの居住スペースで生活しています。ライフステージに合わせて必要な支援を行うよう心がけながら、健康面に配慮し、その人らしい生活を支えています。

生活の中に心地良い変化を作り出すために、細やかな工夫を重ね、基本的な生活支援はもちろんのこと、各種行事・日中活動・学校教育・外出などの取り組みを大切にしています。

## 短期入所・緊急一時保護(合計10床)

在宅で生活されている重症心身障害児者のご家族の休息や冠婚葬祭・ご兄弟の学校行事等の様々な理由でご利用いただいています。東京都による介護枠ベッド、多摩市および八王子市・町田市・稲城市・日野市・調布市による緊急一時保護のベッドがあります。

## 通所 (デイケアセンター)

南多摩地域に在宅の重症心身障害児者の方で18歳以上の青年部(生活介護)と未就学児の幼児部(児童発達支援)の利用形態があります。日中活動やご本人、保護者の相談対応・家庭での訓練方法等の指導および昼食・入浴サービスを行っています。また、特別支援学校に就学中の方を対象に、授業の終了後や夏休みに、生活能力向上のために必要とされる支援・社会との交流の促進等を行うことを目的として放課後等デイサービスを提供しています。

## 計画相談 (相談支援センターしまだ)

はじめて障害福祉サービスを利用する場合、または受給者証が更新になる場合に、利用計画の作成が必要となります。重症心身障害者の方々地域で安心して生活していくために必要なサービスが利用できるよう、サービス等利用計画の作成や、ご相談に対応しています。

## 外来診療

小児科・整形外科・リハビリテーション科・児童精神科・歯科があり、小児期に発症した神経・筋疾患・精神疾患のお子さんを対象に診療しています(児童精神科受診は、申込時点で中学1年生までのお子さんが対象です)。一般診療は行っていませんが、地域の医療機関への紹介や連携を取っています。

## リハビリテーション

理学療法科・作業療法科・言語聴覚療法科・臨床心理科があり、医師の指示のもとに評価し、策定したリハビリテーション計画に基づいて、各種リハビリと相談事業を実施しています。外来・通所・入所利用者様への療育をサポートしています。

## 訪問事業 (ライフケアしまだ)

ご家庭で療養しながら生活をされている方で、ご本人やご家族のご事情により通院が大変でお困りの方などにむけて、訪問サービス(訪問診療・訪問看護・訪問リハビリテーション)を提供しています。かかりつけの医療機関やその他の関係機関と連携しながら、ご本人およびご家族のお住まいでの生活をサポートします。現在入院中これから医療ケアを伴いながら在宅生活へ移られるご予定の方、またそのようなご希望をお持ちの方のご相談にも対応いたします。

## 発達支援センターセブクロバー

発達検査や各種相談を医師の診察を経ずにご利用いただけるシステムです。「なんとなく気になる」「子育てに不安がある」「学校や園の先生から専門機関への相談を勧められた」「子どもに必要な支援を知りたい」「専門的な療育や発達の検査を受けたいけど、診断を受けるのに抵抗がある」...などのご相談に応じています。





## ほっとステーション

利用者様にとって「創造的であり、安らぎであり、また地域とのつながりをもつもの」であるように位置づけています。一人一人の「好きなことや持てる力」をもとに個別ニーズにできる限り近づいた活動内容に整えています。作業的なプログラムと感覚刺激を多く取り入れたプログラムを用意し、生活のひとつコマを主体的に過ごすことを大切にしています。



## スヌーズレン

「スヌーズレン」という言葉は、オランダ語の「スタッフレン（くんくん匂いを嗅ぐ、という意味。環境内のいろいろな刺激の探索）」と「ドゥーズレン（うとうとする、という意味。くつろぎ）」という2つの言葉から創られた造語です。光、音、匂いといった感覚刺激を用いて、障害のある方自身が自分の選択で、自分自身の時間をもち、援助者は同じ場で共に過ごす仲間として活動するものです。

## ピコピコルーム

ピコピコルームは、各種スイッチ、パソコン、コミュニケーション機器などを揃え、病棟での活動や外来のリハビリテーションなどに広く利用できる部屋です。病棟での活動ではゲーム機やラジコン、レクリエーションソフトが活躍し、リハビリテーションにおいてはパソコンやタブレットも多く利用されています。



## 情報資料室くつろぎ

情報資料室くつろぎは、外来の利用者様向けに療育図書約600冊を揃えた部屋です。企業や団体からの寄付によって成り立っており、ジャンル分けされた療育図書や福祉用具、就学・進学などの情報を閲覧できます。外来の待ち時間などに“くつろぎ”の時間を過ごしていただけるような空間づくりを心がけています。

## 年表

和暦(西暦)	島田療育センターのできごと
昭和36(1961)年	5月1日島田療育園開設(定床50) / 小林提樹先生島田療育園園長就任
昭和37(1962)年	財団法人日本心身障害児協会島田療育園乳児院併設 / 島田療育園後援会 発足
昭和38(1963)年	社会福祉法人日本心身障害児協会設立
昭和42(1967)年	児童福祉法の一部改正により、重症心身障害児施設の設置が承認
昭和43(1968)年	皇太子妃・美智子様ご来園 / 重症心身障害児の法制化により乳児院廃止
昭和45(1970)年	法人事務所を東中野に移転、診療所を「こども療育センター」に改称 肢体不自由児通園施設「ひかり学園」開設
昭和46(1971)年	創立10周年記念式典・いつくしみの像完成
昭和49(1974)年	小林提樹先生 島田療育園園長辞任、名誉園長就任 多摩市立第三小学校より4名の教師派遣「訪問学級」開始、8名入学
昭和50(1975)年	島田療育センターを守る会 発足
昭和58(1983)年	リハビリテーション科開設
昭和59(1984)年	東中野法人事務所を島田療育園内に移転 / こども療育センター及びひかり学園事業廃止
昭和61(1986)年	創立25周年記念
平成3(1991)年	創立30周年記念 / 「東京都重症心身障害児通所事業実施要綱」に基づく重症心身障害児(者)デイケアセンター事業開始
平成4(1992)年	「島田療育園」から「島田療育センター」へ名称変更
平成6(1994)年	「島田訪問学級」が「島田分教室」に名称変更、高等部設置
平成9(1997)年	東京都委託の障害児者地域療育等支援事業開始
平成12(2000)年	国士館大学体育学部の介護等体験実習受け入れ開始
平成13(2001)年	創立40周年記念
平成14(2002)年	島田療育センターシンボルマーク完成
平成16(2004)年	看護部・育務部が合併し「療育部」となる / 在宅訪問看護事業(ライフケア島田あおぞら)開始
平成18(2006)年	発達支援センター発足
平成23(2011)年	創立50周年記念 / 「島田療育センターはちおうじ」開設
平成24(2012)年	島田療育センター後援会 長きにわたるご支援を頂き50年目に活動を終了
平成25(2013)年	島田療育センター後援会基金設立 / 発達支援センターセブクローバー 開設
平成26(2014)年	相談支援センターしまだ 開設
平成30(2018)年	保育所等訪問支援事業所 / 居宅訪問型児童発達支援事業所 指定 裏山ヤギ除草 開始
平成31/ 令和元(2019)年	書籍「重症心身障害児者の療育&日中活動マニュアル」発行
令和2(2020)年	コロナ禍におけるオンライン面会 / オンライン診療開始
令和3(2021)年	創立60周年記念
令和4(2022)年	第47回日本重症心身障害学会学術集会 開催 / 木実谷哲史名誉院長 瑞宝小綬章受章



小林提樹初代園長



美智子妃殿下 ご来園



いつくしみの像



島田療育センター  
シンボルマーク

シンボルマークは、「人」という字をモチーフにしており、それぞれの色は赤：熱い心、緑：冷静な心、青：透明な心を表しています。

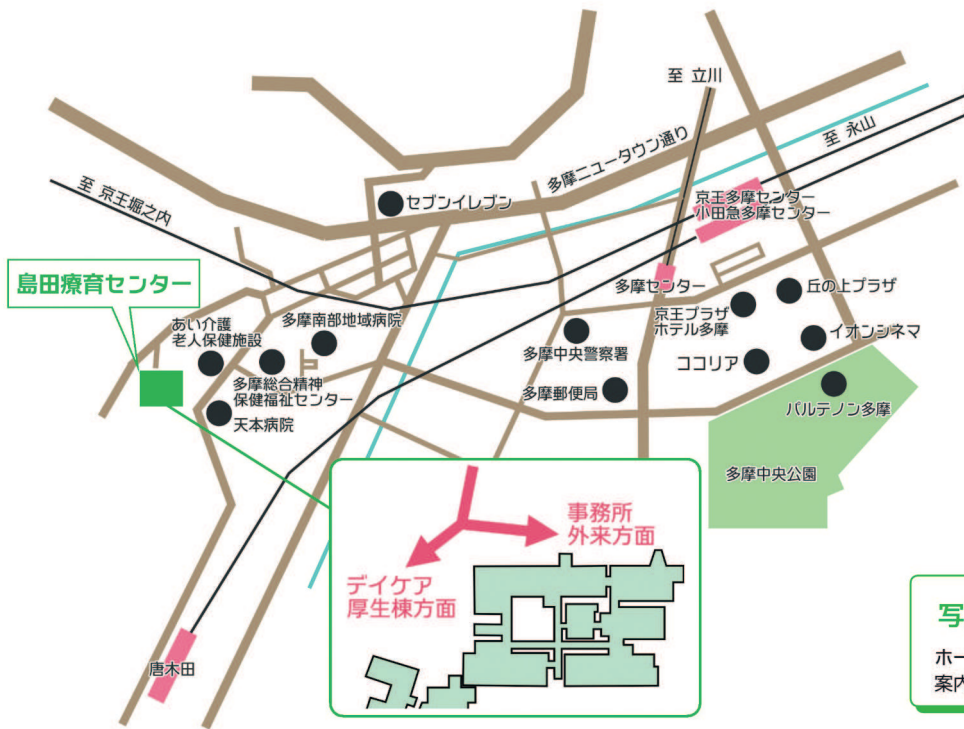


木実谷哲史名誉院長





## 交通アクセス



### 最寄り駅

京王相模原線 / 小田急多摩線 / 多摩都市モノレール

多摩センター駅より

**徒歩** 約 20 分

**タクシー** 乗車約 5 分

### バス

バスターミナル 12 番乗り場より多摩南部地域病院行き乗車、終点「多摩南部地域病院」下車  
徒歩約 7 分

小田急多摩線 唐木田駅より

**徒歩** 約 15 分

### 写真付き案内図

ホームページで写真付きの案内図をご覧ください。



## 島田療育センターはちおうじ

### ● 基本理念 ●

「輪」を「和」でつなぐ

人と人との「輪」を大切に、利用する全ての人が「和（なご）」めるセンターを目指します。



住所	〒 193-0931 東京都八王子市台町 4-33-13 (八王子市小児・障害メディカルセンター内)
電話番号	042-634-8511 (代表) 042-634-9559 (療育) 042-634-9008 (小児)
ホームページ	<a href="https://www.shimada-ryoiku.or.jp/shime8/">https://www.shimada-ryoiku.or.jp/shime8/</a>
基本方針	1. 利用者さまの声に応えるサービスを提供していきます 2. 生活に役立つ助言と支援を行います 3. 関係機関と連携し、地域療育支援を行っています 4. サービス精神と技術の向上に努め、センター全体の質を高めていきます 5. 創造的で健全な管理運営を行います
業務内容	外来 ①療育診療 (障害児診療) ②小児診療 (一般診療) リハビリテーション ①理学療法 ②作業療法 ③言語聴覚療法 ④発達・心理相談および指導 重症心身障害者通所 ① 18 歳以上の重症心身障害者が対象 定員 30 名 発達障害児支援 ①個別相談 ②小集団指導 ③施設支援 ④研修・講座
沿革	平成 23 年 4 月 4 日 島田療育センターはちおうじ 開設 (外来診療、リハビリテーション、発達支援) 平成 23 年 6 月 1 日 重症心身障害者通所開設

### ● ボランティア募集 ●

問合せ先:

(1) 多摩ボランティア・市民活動支援センター  
電話 042-373-6611

または

(2) 島田療育センター 医療相談科  
電話 042-374-2607 (平日 9 時～17 時 30 分)

各病棟、デイケア、ほっとステーションでの活動ボランティアです。団体、個人は問いません。お気軽にお問合せください。

《ボランティア受入れ内容一例》

- ・日中活動への協力 (散歩のつきそい・紙芝居・楽器演奏など)・ボタン付けや縫製
- ・ほっとステーション参加のつきそい・音楽や芸術等の特技を活かしたイベント実施など



### ● 採用募集 ●

問合せ先: 事務部 庶務科 電話 042-374-2071

医師、看護師、介護福祉士、保育士、ヘルパーなど  
\*職種はお問い合わせください。

重症心身障害者施設で一緒に働いてみませんか?  
利用者様の一生に関わり、持てる力を大切に、安全・安心・安楽に過ごすことができるようにケアを提供しています。

未経験でも丁寧研修いたしますので、お気軽にお問合せください。



### ● 賛助会員募集 ●

問合せ先: 事務部 会計科 電話 042-374-2071

社会福祉法人日本心身障害児協会の趣旨に賛同し協力いただける個人、法人をもって会員となります。

法人会員 1 口 12,000 円～

個人会員 1 口 1,000 円～

会員様よりご納付いただいた会費 (寄付金) は、事業費、運営費、施設整備費などの必要経費に充てさせていただきます。

